

平出城跡発掘調査現地説明会のお知らせ

財団法人とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センターでは、栃木県教育委員会の委託を受け、緊急地方道路整備事業主要地方道宇都宮向田線平出・板戸工区建設に伴い、宇都宮市平出町地内にある平出城跡の記録保存調査を行っています。

平出城跡は、伝承によれば承元3年(1209)、宇都宮氏の家臣、鈴木八郎重定が築いたとされる城館です。調査区周辺には「御城」「中城」「北城」「東門」「バンバ(馬場)」「立堀(たてぼり)」「宿(しゅく)」などの屋号を持つ家のあることが知られていましたが、城館の歴史や規模などについてはほとんど分からない状態でした。

この度の発掘調査では、東門(推定)の内側にあたる部分に建物がある区画があり、それと堀を挟んだ南に馬場と思われる区画があることが分かりました。また、それらの場所からは、住居跡や区画溝、地下室などのほか、中国から運ばれてきた陶磁器の破片、五輪塔の一部などがみつかりました。

つきましては、下記の通り現地説明会を開催いたしますので、皆様お誘い合わせのうえ、お越し下さいますようお願い申し上げます。

なお、駐車場には限りがありますので、乗り合わせてお越し下さい。

記

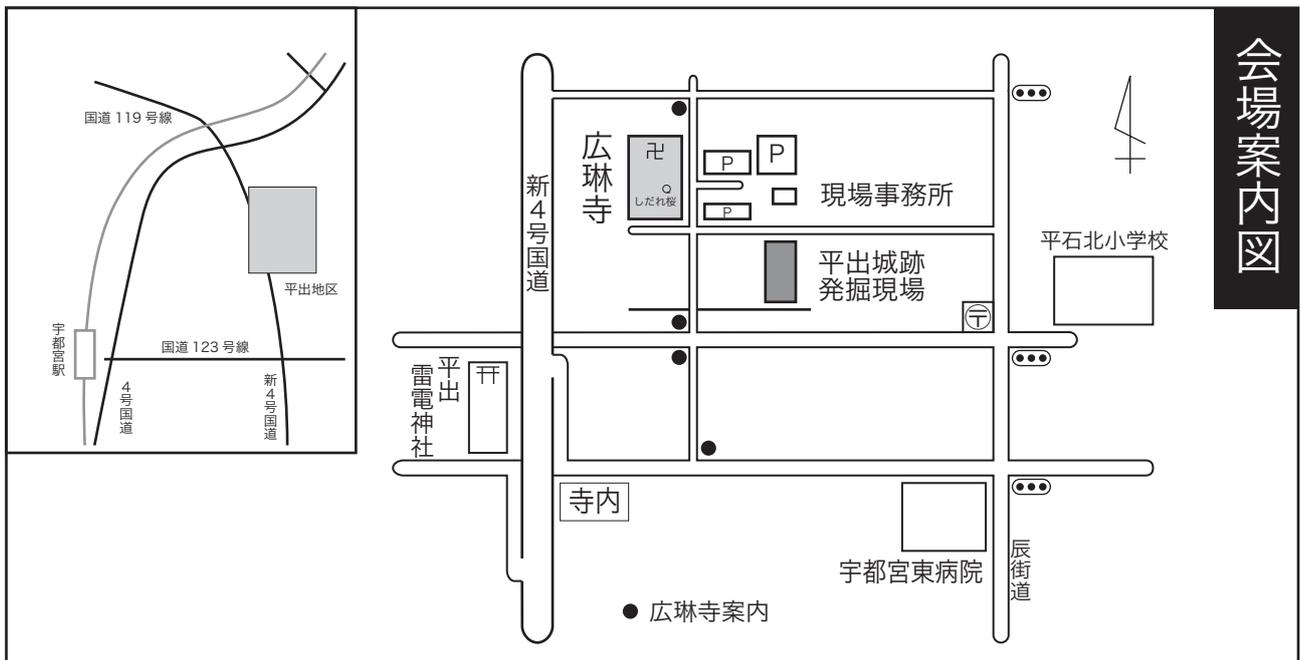
- 1 日時 平成22年2月13日(土) 第1回 午前10時30分～11時30分(小雨決行)
第2回 午後1時30分～2時30分(小雨決行)

- 2 場所 宇都宮市平出町地内 平出城跡発掘調査現場
(関東八十八カ所霊場第二十五番 真言宗智山派広琳寺の東)

- 3 問い合わせ先 財団法人とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター
普及事業担当 電話 0285-44-8441

平出城跡発掘調査現場事務所 電話 090-8948-7265(当日はこちらに御連絡下さい)

※車でお越しの際は係員の指示にしたがって駐車してください。



会場案内図